



## 「近衛文麿内閣関係者が語る 諸家追憶談」を刊行

昭和戦前期に内閣総理大臣を3度務めた近衛文麿（このえふみまろ）の旧宅であり、現在、史跡公園としての公開を目指し、復原整備に向けた取り組みを進めている「荻外荘（てきがいそう）」。

かつて「荻外荘」にあった貴重な資料を、杉並区と陽明文庫の共同調査の成果の一部として、この度、「諸家追憶談」を刊行しました。

杉並区教育委員会は、文化財シリーズ 48 として「近衛文麿内閣関係者が語る 諸家追憶談」を刊行しました。

この本は、国指定史跡「荻外荘（近衛文麿旧宅）」を復原整備していくに当たって締結した「杉並区と公益財団法人陽明文庫との交流に関する覚書」に基づき、かつて「荻外荘」にあった貴重な資料の共同調査をする中で、近衛文麿を追憶した資料をまとめ、成果の一部として刊行するものです。

近衛家は、中臣鎌足や藤原道長にまで行き着く名家で、一千年の歴史の中で蓄積された資料は、京都にある陽明文庫で保管されています。

「諸家追憶談」に収録された資料は、これまで、国立国会図書館でマイクロフィルムが公開され、研究者の関連著述に引用されるなどしてきましたが、活字化して刊行するのは初めてのことです。

「諸家追憶談」には、若槻礼次郎、岡田啓介、東久邇宮稔彦王、吉田茂など首相経験者だけでなく、近衛内閣関係者 20 人以上の証言がまとめられています。特に、第一次近衛内閣の大蔵次官で、学習院の学友であった石渡荘太郎は、学生時代の近衛の興味深い思い出を語っています。

刊行に当たっては、研究者だけでなく、多くの方に手に取っていただけるよう、読みやすさを考慮して漢字を新字体に改め、新書版にするなど、これまでの報告書のようなスタイルを一新しています。

また、本書の売り上げは全て「荻外荘」の復原整備に活用されることになっています。杉並区役所2階の区政資料室、区立郷土博物館本館・分館で4月から販売しています。お近くの区立図書館でも配架されますので、ぜひご覧ください。



### 【問い合わせ先】

教育委員会事務局生涯学習推進課：03-3312-2111（内線1661）

総務部広報課：03-3312-2111（代表）